

第5学年家庭科学習指導略案

日 時 令和4年 9月10日(金) 5校時  
 場 所 5年教室  
 児 童 5学年(6名)  
 指導者 宮古市立高浜小学校 中村 有希子

1 単元名 「持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方」

2 指導計画

ステップ1 (課題発見) 上手に選ぶために考えよう……………1時間  
 ステップ2 (課題解決・実践活動) 買い物の仕方について考えよう…4時間  
 ステップ3 (評価・改善) ……………1時間

3 本時の指導(2/6)

(1) 本時の目標

売買契約の成立について理解した上で、買い物の方法や種類・いろいろな支払いの方法を確認したり、上手な物の選び方について考えたりすることで、消費者である自分がよりよい生活を送るために、目的に合った選び方・買い方をしようとする態度を養う。

(2) 展開

	学習内容と活動	・教師の支援 ◎評価
導 入	1 成年年齢の引き下げにより今までと変わることがあることを知る。 ○18才からできるようになること ・携帯電話の契約 ・ローンを組む ・クレジットカードを作る など 2 本時の学習課題を確認する。 目的に合った選び方・買い方ができるようになろう。	・契約、ローン、クレジットカードについての補足説明(利便性、危険性)をする。 ・身近な問題であるという意識を持たせる。
展 開	3 買い物での契約の成立について知る。 ・お店での買い物の場合 → 申し出 ➡ 売買契約成立 ← 承諾 (買う人) (売る人) ・インターネットでの買い物の場合 → お店での買い物と違い、売買契約が成立した場面や支払いをした場面が分かりにくい。	・p.34 図2を参考にしながら、活動を進める。 ・オンラインゲームの課金も買い物の一つであることに気づかせる。

	<p>4 買い物の方法や支払いの方法について知る。</p> <p>(1) 今までしたことがある買い物について ふり返り、買い物の方法や支払いについて話し合う。</p> <p>(2) それぞれの買い物や支払いの仕方の長所と短所について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自プリントに書く</li> <li>・全体で交流する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通系 IC カードや商品券、スマートフォンでのアプリなど、現代では様々な支払い方法があることを提示する。</li> <li>・長所と短所の両面を知っておくことが必要であることを確認する。</li> </ul>
<p>まとめ</p>	<p>5 自分が18才になるまでに、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おぼえておきたいこと</li> <li>・出来るようになっておきたいこと</li> <li>・知っておきたいこと</li> </ul> <p>について考える。</p> <p>○考えたことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここで出されたことについて、次時でふれることができるようにする。</li> </ul> <p>◎買い物の仕組みや消費者の役割を理解し、自分が消費者であることを自覚することができる。</p>

※次時について

○課題…目的に合った選び方、買い方ができるようになるう。

○扱いたい内容

- ・必要な物を必要な分だけ買うことの大切さ

- 収入と消費のバランス

- 持続可能な社会に向けて、エネルギーや物の使い方を考える必要性

- ・買い物を失敗してしまったときの方法

- 消費者生活センターの活用

- 成年年齢の引き下げに伴い、18才からは契約の取り消しができない場合があることの実